

判例研究から実務課題まで、

北南米の知財をリード！

国際第1委員会

1st International Affairs Committee

～米国・カナダ・中南米の調査・研究～

英保委員長、副委員長3名、他25名

▶北南米を担当し、特に米国に於ける知財について、JIPA 会員に向けた情報発信、および提言によって、各会員が有益な知財活動ができるよう支援しています。

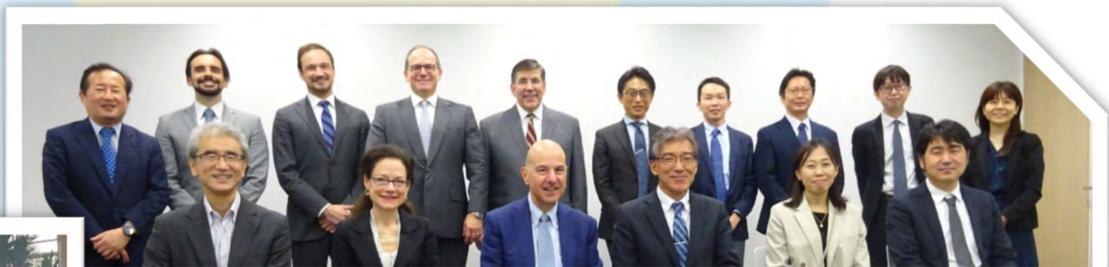
<活動内容>

- * USPTO及び米国等の知財専門家との意見交換会
- * 判例等の調査・研究活動 → 知財管理誌への論説投稿
- * パブコメ対応：Terminal Disclaimer、AI発明、ブラジル法改正 etc...
- * 実務上の課題・解決策の情報交換/議論/悩み事相談/アンケート収集

調査研究テーマは
メンバーの希望を
元に決定

2025年度委員会参加メンバー募集中!!

海外活動 (US派遣)



元USPTO長官 Kappos氏
との意見交換会

【2024年度活動テーマ】

WG1：米国のパラメータ特許に関する調査研究

・CAFC判決を分析し、パラメータ特許の新規性/自明性を訴訟で争う際の留意点を提言する！！

WG2：米国における明確性判断に関する調査研究

・Nautilus判決で示された明確性判断の新基準は旧基準より厳しいとされているが、そうとも言えない！？

明確性に関する近年の判例 50 件以上を調査・分析し実態に迫る！！！！

WG3：米国の特許適格性に関する調査研究

・CAFC判決を分析し、101条の特許適格性で争う際の留意点を提言する！！